

代官山MEDICAL 卒業生の勉強法 ⑨



●塩飽克庸君による日本医科大学の傾向と対策 —Part3—

東京慈恵会医科大学2年 塩飽克庸君

Chemistry

■化学

〈傾向〉

日医の化学は、時々解きづらい問題があります。しかし、難しいのではなくややこしく言っているだけだったりするので、心配する必要はないと思います。ここ数年は、序盤で化学の知識を問うような問題が見られます。難しいものはないと思うので、しっかり得点してください。あとは、構造決定や反応速度論、Ph 計算など基本的な理論・有機をこなせば高得点がとれます。

〈勉強の仕方〉

日医では、「化学1・2の新演習」のような難易度の高めの問題集でしか見られないようなマニアックなものは見られません。テキストや普通の問題集をしっかりやりましょう。日医は、無機も大問としてではないものさりげなく聞いてくるので、勉強しておいてください。

最後に

勉強に関しては一通り思うところを書いたので、試験当日のことについて書きたいと思います。

日医の1次試験は、例年通りなら日本獣医生命科学大学で行われます。センター模試で行った時、教室がきれいで喜んでいましたが、本番はまさかの体育館でした。日医は会場の寒さにかなり気を使ってくれる大学でしたが、やはり冷えます。特に足元はカイロ等で温めましょう。

二次試験は、日医の千駄木のキャンパスで行われますが、緊張する必要はまったくありません。もちろん面接官によって雰囲気は多少変わりますが、グループ討論も個人面接も和やかな雰囲気です。グループ討論では、周囲の人の発言をよく聞いて、発言すれば大丈夫です。積極性も大事ですが、おかしなことを言うよりは落ち着いて考えて発言しましょう。個人面接もいたって一般的なことしか聞かれず、逆に面接官の先生が聞くことがなくて困ってました。最後は、医師になるにあたってのアドバイスをもらうなど試験というピリピリした感じはありません。

あまり参考にならないかもしれませんが以上のことを踏まえて残りわずかですが、がんばってください。